

羅 針 盤			方 策	第1回点検・評価			第2回点検・評価			
評価対象	評価項目	具体的数値項目		自己評価	外部アンケート等	改善策	自己評価	外部アンケート等	改善策	
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	①ICT教育を推進している本校の教育活動に積極的に取り組んでいると自己評価している生徒が75%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> 積極的な授業への取り組みを目指した指導の実践 アンケートによる調査 	A	A	ICTを利用した授業展開や教育効果の検証を行いながら授業改善に努める。	A	A	ICTを効果的に利用した教材研究を行い、授業改善に努める。	
		②部活動を推進している本校の取り組みに所属生徒の75%以上が積極的である。		<ul style="list-style-type: none"> 活動状況及び大会等の成果の確認 アンケートによる調査 	A	A	前半の反省を生かし、今後も大会等の成果の向上を目指した取り組みを推進する。	A	A	運動部、文化部ともに大会等で活躍した。充実した部活動ができるよう学校全体で推進する。
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	③「授業が分かりやすい」と生徒の80%以上が答えている。	<ul style="list-style-type: none"> きめ細かい指導の実践 授業アンケートによる実態把握 	A	A	生徒の実態を把握するとともに、ICTを活用し知的好奇心を喚起する教材の開発を行う。	A	A	生徒実態を把握し、個に応じたきめ細かい指導の推進を図る。	
		④資格取得に向けた指導に生徒の85%以上が意欲的に取り組んでいる。		<ul style="list-style-type: none"> 検定試験等合格に向けた取組の充実 アンケートによる調査 	A	A	資格取得の重要性を深く理解させ、意欲的に取り組む態度を育む。	A	B	資格を取得することで、進路の幅が広がることを意識させ、意欲的に取り組む態度を育む。
	3 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	⑤学習に対する達成感・満足感をもっている生徒が75%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導の充実、定期試験対策補習等の実施 アンケートによる調査 	A	B	定期試験前の朝学習の習慣が身についた。予習や復習など意欲的に学習に取り組む態度を育む。	A	B	進路指導と連携した学習意欲の向上策の検討ときめ細かい指導実践に取り組む。	
		⑥全商関係の検定試験合格率が70%以上である。		<ul style="list-style-type: none"> 教科・科目の目標達成とともに資格取得にもつながる質の高い授業等の実施 	C	-	1学期終了時点では、合格率が59%であった。授業改善を行うとともに生徒自身が目的を持って資格取得に取り組めるように支援していく。	C	-	2学期終了時点では、合格率57%であった。3学期においても生徒自身が資格取得に対して目的意識を持って意欲的に取り組めるような指導を継続する。
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	⑦学年会議・校務運営委員会・職員会議等で生徒に関する情報交換を毎週実施し、教職員の連携強化を図っている。	<ul style="list-style-type: none"> 職員会議、学年会議、運営委員会での情報共有 アンケート調査 	A	-	各学年、運営委員会、職員会議等で情報交換を密にし、教職員間の連携を深める。また、問題を抱える生徒に関する情報共有を図る。	A	-	多様化する生徒の情報を共有し、教職員の更なる連携とサポート体制の強化に努め、協力体制を整えていく。	
		⑧生徒会行事や各種専門委員会など、生徒会活動が充実していると評価した生徒が70%以上である。		<ul style="list-style-type: none"> 生徒会・専門委員会の充実 アンケートによる調査 	A	A	生徒が主体となった活動を目指し、職員が連携して生徒の活動をサポートする。	A	A	清瀬祭を毎年開催するなど生徒が主体的に活動できる機会を設ける。また行事の効率的な運営を目指す。
		⑨校内の美化・安全点検を各学期に1回以上実施している。		<ul style="list-style-type: none"> 施設委員を活用した校内巡視による点検後、点検一覧表の作成 空き教室利用や机イス等の更新 	A	-	校内清掃用具の調査を行い、校内の美化を進める。安全点検を実施し、修繕の必要なところは速やかに対応する。	A	-	校内清掃設備の調査をもとに、清掃用具の充実を図り校内美化を進めていく。今後も修繕の必要なところは速やかに対応していく。
		⑩「学校は、いじめ防止や早期発見に向けて取り組みを積極的に行っている」と認識している生徒が85%以上である。		<ul style="list-style-type: none"> いじめアンケートの実施 教育相談アンケートの実施・面接 	A	B	SNS等によるいじめは問題の把握が難しいが、集会やアンケートをとって早期発見を行う。	B	B	アンケートや面談等でいじめを早期発見し、早期対応を行ってきた。今後も問題が多くなる前に芽を摘んでいく。
	5 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	⑪家庭との連携を密にして欠席率・遅刻率が1.0%以下である。	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な登校時指導、遅刻防止指導の実施 保護者への協力・支援 欠席・遅刻・早退率の把握 朝の10分間読書の実施 	A	A	1学期時点では、欠席率0.8%、遅刻率0.2%、早退率0.1%であった。引き続き、家庭との連携を密にし、欠席・遅刻防止指導を実践していく。	B	B	2学期時点で欠席率1.2%、遅刻率0.2%、早退率0.1%であった。昨年度の同時期に比べ、欠席、遅刻、早退ともにやや増加している。引き続き家庭との連携を密にし、欠席・遅刻防止指導を実践していく。	
		⑫挨拶や服装、遅刻防止指導など学校の生活指導は充実していると感じている生徒が85%以上である。		<ul style="list-style-type: none"> 定期的な登校時指導、遅刻防止指導、服装指導の実施・保護者への協力・支援 アンケートによる調査 	A	A	朝読書や朝の玄関指導をはじめ各学年の粘り強い指導が行われている。今後もこれを継続して行き、折りに触れて生徒の意識もさらに深めていく。	A	A	朝読書や朝の玄関指導が遅刻防止に役立っている。今後も継続していく。生活指導については、教職員の連携・協力と生徒情報の共有を密にし、粘り強い指導を継続する。

※ 自己評価・外部アンケート等：個々の具体的数値項目について評価し、次に従いアルファベットで記入した。

A：数値目標達成、B：約80%達成、C：約60%達成、D：約40%達成

羅 針 盤			方 策	第1回点検・評価			第2回点検・評価		
評価対象	評価項目	具体的数値項目		自己評価	外部アンケート等	改善策	自己評価	外部アンケート等	改善策
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	6 計画的な指導を行っていますか。	⑬学校から提供される進路情報が役立っていると評価する生徒が80%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> 「進路のてびき」の活用及び「進路ガイド」や講演会など外部機関との連携による進路指導の充実 アンケートによる調査 	A	A	2年生・3年生の進路ガイダンスを行い進路について具体的に考える機会を増やした。進路について理解を深めるための情報発信をしていく。	A	A	1・2年生対象の進路ガイダンスの実施や進路に関する講演の実施等、進路について具体的に考えさせていく。
		⑭進路通信を年間10回以上発行し、生徒・保護者へタイムリーな情報を提供している。	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な「進路たより」の発行 3学年へは具体的情報を提供 アンケートによる調査 	A	A	「進路たより」を定期的に行行して具体的な情報提供を継続していく。	A	A	進路意識を高めるための情報発信としての「進路たより」の発行を継続的に行い、進路学習を低学年から意識的に行う態勢を作る。
	7 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	⑮「自己の生き方」と「将来の職業」との関連について真剣に考えている生徒が80%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> 就業体験等によるキャリア教育の充実 ホームルーム活動や教科における進路学習の充実 アンケートによる調査 	A	B	就業体験を含め、学年行事、学級活動、授業等において職業や生き方に係わる学習をいろいろな場面でやっていく。進路学習を職員全体でできるように連携する。	A	B	各ホームルームや各教科等学校生活全体で生徒が進路意識を向上できるように職員間の連携を強化する。
		⑯進路実現に向けて積極的に取り組んでいる生徒が80%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> キャリア教育の充実 早期の進路目標設定と個に応じた指導の実践 アンケートによる調査 	B	B	1年次から各ホームルームや各教科等学校生活全体で生徒が進路意識を向上できるように連携を図る。	B	B	ホームルーム活動や進路行事等を通して、資格取得や学業成績が今後の進路選択の鍵となる点を再認識させ、真剣な取り組みを促す。
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	8 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	⑰学年別保護者会に積極的に参加している保護者が95%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> 各学年保護者会等、PTA主催行事への積極的な参加及び行事内容等の充実 ホームページの充実 地域社会への情報提供 地域との文化祭やカルチャー講座等を通じた交流 	A	A	保護者会の出席率が、3学年232/238で97.5%であった。他の行事においても多くの参加が期待できるよう、内容や実施方法を工夫する。	A	A	1学年225/238で94.5%であり、2学年の保護者会の出席者が228/239で95.4%であった。学校行事や生徒の活躍の様子をホームページに掲載。今後もホームページの充実を図り、情報発信を継続して行っていく。
		⑱学校説明会、オープンスクール、保護者参加事業等で学校の教育活動を理解できたと感じる参加者の割合が90%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> 文化部及び運動部を中心とする各種カルチャー教室の充実や地域諸行事への積極的参加 桐商たよりの配布 アンケートによる調査 	A	B	学校説明会では、保護者の95%、中学生の94%が理解に役立ったと回答している。今後も中学校へ出向いての説明会、ホームページの充実など本校の教育活動を理解してもらおう努力を継続していく。	B	B	オープンスクールでの読み聞かせの会やカルチャー教室でのクリスマスケーキ作り等を通じて地域との交流を図っていく。

※ 自己評価・外部アンケート等：個々の具体的数値項目について評価し、次に従いアルファベットで記入した。

A：数値目標達成、B：約80%達成、C：約60%達成、D：約40%達成